

(ご説明資料)

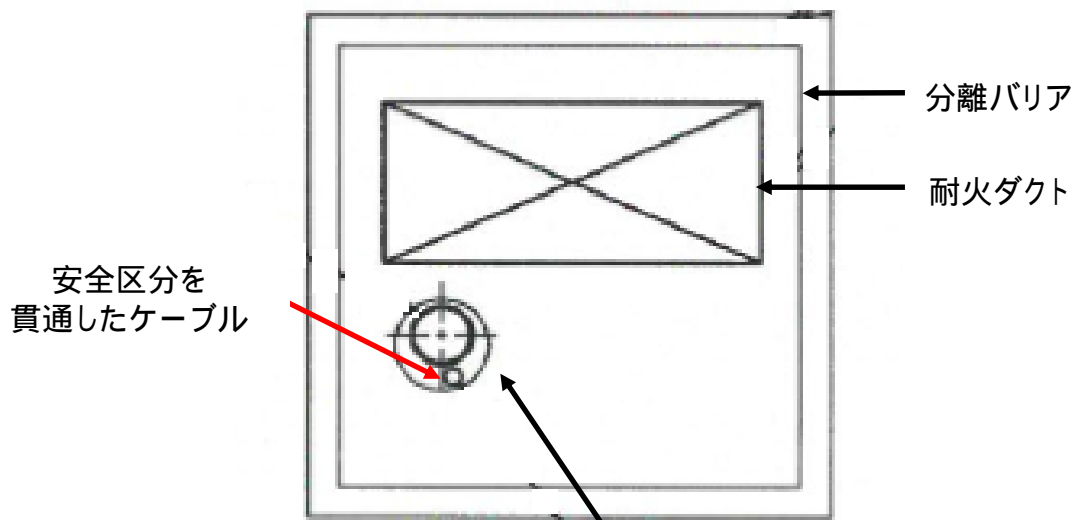
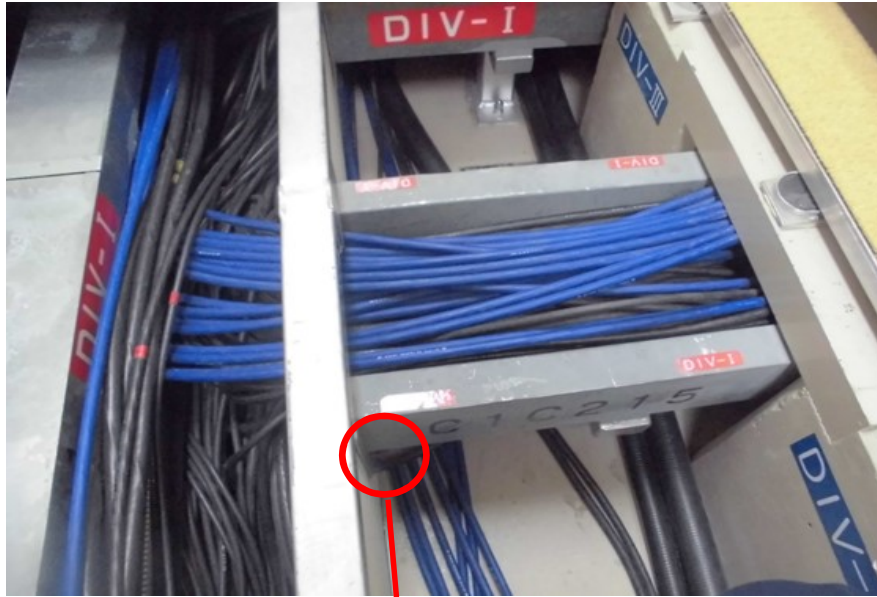
2016年11月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

### 7号機中央制御室床下ケーブルの敷設状況について

- 当所では、これまでケーブルの敷設に関して調査、是正を継続的に実施してきております。
- 6・7号機については、現在、中央制御室床下において安全対策の実施に関する事前調査を行っておりますが、2016年11月22日、7号機中央制御室において異なる安全区分を貫通するケーブルを1本確認しました。
- 当該ケーブルは、電源設備の作業時にのみ使用するケーブルで、現在は使用されていないものであり、安全上の問題はありません。
- 当該ケーブルは、トレイの下に位置しており、トレイの下までしっかりと確認すべきでありましたが、これまでの調査で発見されなかったものです。なお、今回と類似する箇所は7号機に22箇所、4号機に1箇所ありましたが、当該箇所以外に異なる安全区分を貫通するケーブルは確認されておられません。
- 当該ケーブルは、7号機建設時に敷設されたもので、適切に敷設されなかった要因は、これまでの事例と同様と判断しており、先般取りまとめた再発防止対策に影響を与えるものではないと考えております。
- 今後も安全対策を進めていく中で、異なる安全区分を貫通するケーブルが確認された場合には、その都度適切に是正してまいります。

以 上

# 7号機中央制御室床下におけるケーブルの状況



分離バリアの貫通箇所(発見時の状態)

## 写真撮影のためケーブルの位置をずらし撮影

